

◆ News Release ◆

株式会社阪急交通社

阪急交通社グループ 旅行概況(12月分)について

2024年12月の旅行取扱実績について、下記のとおりお知らせします。

株式会社阪急交通社

(単位:千円)

区 分	取扱高	前年 同月取扱高	前年 同月比	2019年度 同月取扱高	2019年度 同月比
海外旅行	10,090,417	7,225,863	139.6%	13,966,971	72.2%
国内旅行	9,305,590	9,258,582	100.5%	8,300,392	112.1%
訪日旅行	123,690	126,825	97.5%	71,185	173.8%
合 計	19,519,697	16,611,270	117.2%	22,338,548	87.4%

【概況】

12月の営業概況は、総取扱額195億1,969万7千円、2019年同月比87.4%となりました。海外旅行は、11月の出国日本人数が2019年度比で7割を上回りましたが、12月は2.3ポイント低下の69.3%となり、市場の回復が停滞しています。

こうした中、当社ではアジア、エジプト、欧州を中心に継続的な募集告知を行うとともに、テレビ通販で、沖縄・那覇発着の宮古、石垣と台湾を巡るフライ&クルーズやデラックスホテルを利用するドバイなどの新商品を全国で販売しました。その結果、沖縄・那覇発着クルーズが大きく伸長したほか、エジプトやドバイ、及びベトナム、香港の集客が前年および2019年の同月比を上回るなど、回復が進みました。

取扱高は、前年同月比139.6%、2019年同月比では72.2%となりました。

国内旅行は、秋の需要は概ね順調でしたが、12月は日本人の延べ宿泊者数の前年比が前月から0.9ポイント低下するなど、需要にやや陰りが見られました。

こうした中、当社では温暖な沖縄・宮古島のツアーのテレビ通販を全国で実施したほか、ハウステンボスのイルミネーションや花火を観賞する商品や、グレードの高いリゾートホテルなどを利用する商品の販売強化により、冬季の需要促進を図りました。その結果、沖縄や九州を中心に需要が活性化したほか、東北や関東の集客も好調に推移しました。

取扱高は、前年同月比100.5%、2019年同月比では112.1%となり堅調に推移しました。

株式会社阪急阪神ビジネスラベル

(単位:千円)

区 分	取扱高	前年 同月取扱高	前年 同月比	2019年度 同月取扱高	2019年度 同月比
海外旅行	2,079,543	2,135,856	97.4%	2,761,856	75.3%
国内旅行	148,129	271,680	54.5%	235,722	62.8%
訪日旅行	13,477	6,963	193.6%	4,768	282.7%
合 計	2,241,149	2,414,500	92.8%	3,002,346	74.6%

【概況】

12月の営業概況は、総取扱額22億4,114万9千円、前年同月比92.8%、2019年同月比では74.6%となりました。

海外旅行は、11月末から中国短期入国の査証免除措置が再開されたものの、中国出張需要は低調となりました。一方で、業務渡航、企画旅行は堅調に推移し、取扱高は前年同月比97.4%、2019年同月比で75.3%となりました。

国内旅行は、業務出張の取扱いは堅調に推移したものの、前年の大型団体旅行の取扱いの反動もあり、取扱高は前年同月比54.5%となりました。

グループ2社合計取扱額

株式会社阪急交通社、株式会社阪急阪神ビジネスラベル

(単位:千円)

区 分	取扱高	前年 同月取扱高	前年 同月比	2019年度 同月取扱高	2019年度 同月比
海外旅行	11,902,453	9,106,959	130.7%	16,631,920	71.6%
国内旅行	9,420,857	9,501,451	99.2%	8,460,129	111.4%
訪日旅行	137,167	133,788	102.5%	75,953	180.6%
合 計	21,460,477	18,742,198	114.5%	25,168,002	85.3%

※グループ内取引を相殺したものです。

<本件に関するお問い合わせ先>

株式会社阪急交通社 広報部

〒105-0004 東京都港区新橋3-3-9 TEL:03-6745-7333 / FAX:03-6745-7351

〒530-0001 大阪市北区梅田2-5-25 TEL:06-4795-5711 / FAX:06-4795-5724